

## ロイヤント™ 乳剤

版番号	改訂日:	整理番号:	前回改訂日:-
1.0	2023/02/14	800080005482	初回作成日: 2023/02/14

Corteva Agriscience™ は、この製品の使用者が、重要な情報を記載しているこの(M)SDSを熟読され、ご理解されるようお願いしております。このSDSは、職場における人の健康および安全性の保護、環境保護、緊急時の対応を支援する情報を製品の使用者に提供します。製品を使用される際は、主に製品容器に添付されている製品ラベルを参照する必要があります。このSDSは、日本の法規制及び JIS Z 7253 に準拠して作成されたものであり、日本以外の国の規制を満たすものではありません。

## 1. 化学品及び会社情報

化学品の名称 : ロイヤント™ 乳剤

## 供給者の会社名称、住所及び電話番号

## 会社情報

## 製造業者/輸入業者

コルテバ・ジャパン株式会社  
100-6110 東京都千代田区永田町 2-11-1

会社電話番号 : 03-3519-3190  
電子メールアドレス : SDS@corteva.com

緊急連絡電話番号 : 0800-170-5827

## 推奨用途及び使用上の制限

推奨用途 : 農薬 (除草剤)

## 2. 危険有害性の要約

## 化学品の GHS 分類

水生環境有害性 短期 (急性) : 区分 1

水生環境有害性 長期 (慢性) : 区分 1

## GHS ラベル要素

絵表示又はシンボル :



注意喚起語 : 警告

## ロイヤント™ 乳剤

版番号 改訂日: 整理番号: 前回改訂日:-  
1.0 2023/02/14 800080005482 初回作成日: 2023/02/14

危険有害性情報 : H410 長期継続的影響によって水生生物に非常に強い毒性。

注意書き : **安全対策:**  
P273 環境への放出を避けること。  
**応急措置:**  
P391 漏出物を回収すること。  
**廃棄:**  
P501 内容物／容器を承認された処理施設に廃棄すること。

GHS 分類に該当しない他の危険有害性  
知見なし。

## 3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 : 混合物

## 成分

化学名	CAS 番号	含有量 (% w/w)	化審法 (ENCS) / 安衛法 (ISHL) 番号
ベンジル=4-アミノ-3-クロロ-6- (4-クロロ-2-フルオロ-3-メトキシフェニル) -5-フルオロピリジン-2-カルボキシラート (フロルピラウキシフェンベンジル)	1390661-72-9	2.7	8-(1)-4461
Reaction mass of N,N-dimethyldecan-1-amide and N,N-dimethyloctanamide	未特定	>= 10 - < 20	
プロピレンカーボネート	108-32-7	>= 3 - < 10	5-524
Alkyl (C10-16) benzenesulfonic acid, calcium salt	26264-06-2	>= 3 - < 10	3-1906, 3-1884, 3-1949
エチルヘキサノール	104-76-7	>= 1 - < 2.5	2-217
メタノール	67-56-1	>= 0.3 - < 1	2-201

## 4. 応急措置

吸入した場合 : 新鮮な空気の場合に移動させる。呼吸停止の時は救急隊または救急車を呼び、人工呼吸を施す。マウスツーマウス式人工呼吸を行う時は、レスキュー用保護具(ポケットマスクなど)

## ロイヤント™ 乳剤

版番号	改訂日:	整理番号:	前回改訂日:-
1.0	2023/02/14	800080005482	初回作成日: 2023/02/14

- を使用する。中毒情報センターに連絡するか医師に治療のアドバイスを求めること。
- 皮膚に付着した場合 : 汚染された衣類を脱がせる。直ちに皮膚を大量の水で 15~20 分間洗浄する。中毒情報センターに連絡するか医師に治療のアドバイスを求めること。
- 眼に入った場合 : 目を開いたまま 15~20 分間でゆっくりと優しく洗い流す。コンタクトレンズを装着している場合は、5 分洗眼してからはずし、さらに洗眼を続ける。中毒情報センターに連絡するか医師に治療のアドバイスを求めること。
- 飲み込んだ場合 : 緊急医療措置は必要ない。
- 急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状 : 知見なし。
- 応急措置をする者の保護 : ばく露する可能性がある場合は、第 8 項の保護具の情報を参照。
- 医師に対する特別な注意事項 : 特別な解毒剤はない。  
ばく露に対する治療は、患者の症状に応じて臨床的処置を行う。  
中毒情報センターや医師に電話する場合、または治療を受けに行く場合は、この安全データシートのほか、できれば製品の容器またはラベルを手元に用意すること。

## 5. 火災時の措置

- 適切な消火剤 : 水噴霧  
耐アルコール泡消火剤  
二酸化炭素 (CO<sub>2</sub>)  
粉末消火剤
- 使ってはならない消火剤 : 知見なし。
- 特有の危険有害性 : 燃焼生成物にさらされると、健康に危害を及ぼす可能性がある。  
火災時には消火用水が排水溝ないし水路へ流出しないよう防止すること。
- 有害燃焼副産物 : 火災時の煙には、元の物質に加えて、毒性や刺激性があるかもしれない様々な燃焼生成物が含まれていることがある。  
燃焼生成物は以下のものを含むことがあり、またこれだけとは限らない：  
窒素酸化物 (NO<sub>x</sub>)  
フッ化水素  
塩化水素ガス  
炭素酸化物
- 特有の消火方法 : 汚染した消火廃水は回収すること。排水施設に流してはならない。  
火災の残留物や汚染した消火廃水は、関係法規に従って処理する。  
安全であれば未損傷コンテナを火災領域から離す。

## ロイヤント™ 乳剤

版番号	改訂日:	整理番号:	前回改訂日:-
1.0	2023/02/14	800080005482	初回作成日: 2023/02/14

区域から退避させること。  
現場の状況と周辺環境に応じて適切な消火手段を用いる。  
未開封の容器を冷却するために水を噴霧する。  
消火を行う者の保護 : 消火活動時には必要に応じて 自給式呼吸装置を装着する。  
保護具を使用する。

## 6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置 : 十分な換気を確保する。  
保護具を使用する。  
適切な安全設備を用いること。追加情報として、第8項、暴露防止及び保護措置を参照。

環境に対する注意事項 : 製品が河川、湖水または排水管を汚染した場合は、関連当局に連絡する。  
環境への放出は必ず避けなければならない。  
安全を確認してから、もれやこぼれを止める。  
広範囲に広まるのを防ぐ（封じ込めまたはオイルバリアなどによる）。  
汚染された洗浄水を保管し、処分する。  
流出が著しく回収できない場合は、地方自治体に通報する。  
土壌、排水溝、下水道、水路や地下水への流入を防ぐ。項目12の環境影響情報を参照。

封じ込め及び浄化の方法及び機材 : 適切な吸収剤を使って流出の残余物を除去する。  
本物質、ならびに放出物の清掃に使用した資材および品目の放出および処分については、地方または国の規制が適用される場合がある。  
大規模な流出の場合は、物質が広がらないように、堤防で囲うか、他の適切な封じ込めを行う。堤防で囲った物質をポンプで汲み出せるのであれば、  
回収物質は、ベント付き容器に保管すること。漏洩物質が更に反応し、容器内が加圧状態になることがあるので、通気孔から水が侵入しないようにすること。  
廃棄に備え適切な容器に入れて蓋をしておく。  
吸収材（例：布、フリース）で拭き取る。  
不活性の吸収材（例えば、砂、シリカゲル、酸性結合剤、汎用結合剤、おがくず）で吸収させる。  
追加情報として、項目13の廃棄上の注意を参照。

## 7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い  
安全取扱注意事項 : 蒸気/粉じんを吸い込まない。  
十分な衛生的作業を行い安全規定に従って取扱う。  
作業エリアでは、喫煙、飲食は禁止する。

## ロイヤント™ 乳剤

版番号 改訂日: 整理番号: 前回改訂日:-  
1.0 2023/02/14 800080005482 初回作成日: 2023/02/14

- 漏れや廃棄物を防止し、環境への放出を最小限にするよう注意する。  
適切な安全設備を用いること。追加情報として、第8項、暴露防止及び保護措置を参照。
- 接触回避 : なし。
- 保管**
- 安全な保管条件 : 密閉容器に保管すること。  
一度開けた容器は注意深く再度密封し、漏れを避けるためまっすぐ立てておく。  
適切なラベルのついた容器に入れておく。  
各国の規定に従って保管する。
- 混触禁止物質 : 酸の近くに保管しない。  
強酸化剤
- 安全な容器包装材料 : 適さない材質: 知見なし。

## 8. ばく露防止及び保護措置

## 作業環境における成分別暴露限界/許容濃度

成分	CAS 番号	指標 (暴露形態)	管理濃度 / 基準濃度 / 許容濃度	出典
エチルヘキサノール	104-76-7	OEL-M	1 ppm 5.3 mg/m <sup>3</sup>	日本産業衛生学会 (許容濃度)
詳細情報: 第3群: ヒトに対する生殖毒性の疑いがある物質				
		TWA	2 ppm	Corteva OEL
		TWA	5 ppm	ACGIH
メタノール	67-56-1	ACL	200 ppm	安衛法 (管理濃度)
		OEL-M	200 ppm 260 mg/m <sup>3</sup>	日本産業衛生学会 (許容濃度)
詳細情報: 第2群: ヒトに対しておそらく生殖毒性を示すと判断される物質, 経皮吸収				
		TWA	200 ppm	ACGIH
		STEL	250 ppm	ACGIH

## 生物学的職業暴露限度

成分	CAS 番号	対象物質	生物学的試料	試料採取時期	許容濃度	出典
メタノール	67-56-1	メタノール	尿	作業終了時	20 mg/l	日本産業衛生学会
		メタノール	尿	シフト終了時 (暴露停止後)	15 mg/l	ACGIH BEI

ロイヤント™ 乳剤

版番号 1.0	改訂日: 2023/02/14	整理番号: 800080005482	前回改訂日:- 初回作成日: 2023/02/14
------------	--------------------	-----------------------	------------------------------

			できるだけ早く)
--	--	--	----------

**設備対策** : 局所排気装置や他の排気装置を使用して、空中濃度が許容濃度や管理濃度より低くなるように管理する。許容濃度や管理濃度が設定されていない場合、通常の作業は全体換気を行うことで十分である。  
一部の作業には局所排気装置が必要になることがある。

**保護具**

呼吸用保護具 : 許容濃度や管理濃度を超える可能性がある場合、呼吸器保護具を着用すること。許容濃度や管理濃度が設定されていない場合、呼吸器刺激や不快感等がある場合、又はリスク評価において必要であると示された時、呼吸器保護具を着用する。

手の保護具

備考 : この物質に対し耐薬品性のある手袋を用いること。望ましい手袋の素材の例：塩素化ポリエチレン。ネオプレン。ポリエチレン。エチルビニルアルコールラミネート (EVAL)。ポリ塩化ビニル (PVC または ビニル)。バイトン。許容できる手袋の素材の例：ブチルゴム。天然ゴム (ラテックス)。ニトリル/ブタジエンゴム (ニトリルまたは NBR)。注意：特定の用途と作業場での使用時間に適合した手袋を選択するときは、以下に記す要件をはじめとして、作業上の要件をすべて考慮に入れる必要がある：取り扱う可能性がある他の化学物質、物理的要件 (切傷・刺し傷の予防、機敏さ、熱の防護)、手袋の供給業者からの説明書・仕様書。

眼の保護具 : 安全メガネ (サイドシールド付) を着用する。  
皮膚及び身体の保護具 : この物質に耐薬品性のある保護衣を着用する。作業内容に応じて、顔面シールド、長靴、エプロンまたは全身防護服などの保護具を選択する。

**9. 物理的及び化学的性質**

物理状態 : 液体  
色 : 黄色  
臭い : 溶剤  
臭いのしきい(閾)値 : データなし  
可燃性 (固体、気体) : データなし  
爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界  
爆発範囲の上限 / 可燃上限値 : データなし  
爆発範囲の下限 / 可燃下限値 : データなし

## ロイヤント™ 乳剤

版番号	改訂日:	整理番号:	前回改訂日:-
1.0	2023/02/14	800080005482	初回作成日: 2023/02/14

引火点	: > 100 ° C
	方法: 密閉式引火点試験
pH	: 4.24 (22.6 ° C)
	含有量: 1 % (1%水性懸濁液)
蒸発速度	: データなし
自然発火点	: 260 ° C
粘度	
粘度(粘性率)	: 15.4 mPa. s (20 ° C)
	8.90 mPa. s (40 ° C)
動粘度 (動粘性率)	: データなし
溶解度	
水溶性	: 0.015 mg/l (20 ° C)
蒸気圧	: 0.001 hPa (20 ° C)
密度及び／又は相対密度	
密度	: 0.9257 gPcm3 (20 ° C)
	方法: デジタル式密度計
相対ガス密度	: データなし
爆発特性	: 非爆発性
酸化特性	: 5°Cを超える顕著な温度上昇なし。

**10. 安定性及び反応性**

反応性	: 反応性危険としては分類されない。
化学的安定性	: 指示通りに保管または使用した場合は、分解することはない。 通常の状態では安定。
危険有害反応可能性	: 推奨保管条件下では安定。 特に言及すべき危害要因はない。
避けるべき条件	: 知見なし。
混触危険物質	: なし。
危険有害な分解生成物	: 分解生成物は温度、空気の供給および他の物質の存在による。

## ロイヤント™ 乳剤

版番号	改訂日:	整理番号:	前回改訂日:-
1.0	2023/02/14	800080005482	初回作成日: 2023/02/14

分解生成物は以下のものを含むことがあり、またこれだけとは限らない:  
窒素酸化物(NO<sub>x</sub>)  
フッ化水素  
塩化水素ガス  
炭素酸化物

## 11. 有害性情報

## 急性毒性

**製品:**

- 急性毒性 (経口) : LD50 (ラット, メス): > 5,000 mg/kg  
方法: OECD 試験ガイドライン 423  
症状: この濃度では死に至らない。
- 急性毒性 (吸入) : LC50 (ラット, オスおよびメス): > 5.40 mg/l  
曝露時間: 4 h  
試験環境: 粉じん/ミスト  
方法: OECD 試験ガイドライン 403  
症状: この濃度では死に至らない。  
アセスメント: この物質または混合物は急性の吸入毒性は無い。
- 急性毒性 (経皮) : LD50 (ラット, オスおよびメス): > 5,000 mg/kg  
方法: OECD 試験ガイドライン 402  
症状: この濃度では死に至らない。

**成分:**

ベンジル=4-アミノ-3-クロロ-6-(4-クロロ-2-フルオロ-3-メトキシフェニル)-5-フルオロピリジン-2-カルボキシラート(フロルピラウキシフェンベンジル):

- 急性毒性 (経口) : LD50 (ラット, メス): > 5,000 mg/kg
- 急性毒性 (吸入) : LC50 (ラット, オスおよびメス): > 5.23 mg/l  
曝露時間: 4 h  
試験環境: 粉じん/ミスト  
症状: この濃度では死に至らない。  
アセスメント: この物質または混合物は急性の吸入毒性は無い。
- 急性毒性 (経皮) : LD50 (ラット, オスおよびメス): > 5,000 mg/kg

**Reaction mass of N,N-dimethyldecan-1-amide and N,N-dimethyloctanamide:**

- 急性毒性 (経口) : LD50 (ラット): > 2,000 mg/kg



## ロイヤント™ 乳剤

版番号	改訂日:	整理番号:	前回改訂日:-
1.0	2023/02/14	800080005482	初回作成日: 2023/02/14

急性毒性 (吸入) : LC50 (ラット): > 3,551 mg/l  
曝露時間: 4 h  
試験環境: 粉じん/ミスト  
アセスメント: この物質または混合物は急性の吸入毒性は無い。

急性毒性 (経皮) : LD50 (ラット): > 2,000 mg/kg

**プロピレンカーボネート:**

急性毒性 (経口) : LD50 (ラット): > 5,000 mg/kg

急性毒性 (経皮) : LD50 (ウサギ): > 3,000 mg/kg  
アセスメント: この物質または混合物は急性の皮膚毒性は無い。

**Alkyl (C10-16) benzenesulfonic acid, calcium salt:**

急性毒性 (経口) : LD50 (ラット, オスおよびメス): 1,300 mg/kg

**エチルヘキサノール:**

急性毒性 (経口) : LD50 (ラット): > 2,000 mg/kg  
標的臓器: 中枢神経系

急性毒性 (吸入) : LC50 (ラット): 2.17 mg/l  
曝露時間: 4 h  
試験環境: 粉じん/ミスト

急性毒性 (経皮) : LD50 (ウサギ): > 3,000 mg/kg  
方法: OECD 試験ガイドライン 402

**メタノール:**

急性毒性 (経口) : LD50 (ラット): > 5,000 mg/kg  
アセスメント: 成分/混合物は単回経口摂取後有毒。  
備考: メタノールはヒトに対して高い毒性を示し、中枢神経系影響、失明を含む視覚障害、代謝性アシドーシスのほか、肝臓、腎臓および心臓などの臓器に変性を起こすことがある。有害影響は遅発性であろう。

致死量 (ヒト): 340 mg/kg  
方法: 推定値。

致死量 (ヒト): 方法: 推定値。

急性毒性 (吸入) : LC50 (ラット): 3 mg/l  
曝露時間: 4 h  
試験環境: 蒸気

## ロイヤント™ 乳剤

版番号	改訂日:	整理番号:	前回改訂日:-
1.0	2023/02/14	800080005482	初回作成日: 2023/02/14

---

急性毒性 (経皮) : LD50 (ウサギ): 15,800 mg/kg  
アセスメント: 成分/混合物は皮膚との単回接触後有毒。  
備考: メタノールの作用は経口、吸入暴露とも同じであり、CNS (中枢神経) 抑制、失明までも含む視覚障害、代謝性アシドーシスのほか、肝臓、腎臓、心臓などの臓器系に及ぼす作用も伴い、死に至ることもある。

## 皮膚腐食性/刺激性

製品:

種 : ウサギ  
方法 : OECD 試験ガイドライン 404  
結果 : 皮膚刺激なし

成分:

ベンジル=4-アミノ-3-クロロ-6- (4-クロロ-2-フルオロ-3-メトキシフェニル) -5-フルオロピリジン-2-カルボキシラート (フロルピラウキシフェンベンジル):

種 : ウサギ  
結果 : 皮膚刺激なし

Reaction mass of N,N-dimethyldecan-1-amide and N,N-dimethyloctanamide:

種 : ウサギ  
結果 : 皮膚刺激性

プロピレンカーボネート:

結果 : 皮膚刺激なし

Alkyl (C10-16) benzenesulfonic acid, calcium salt:

種 : ウサギ  
方法 : OECD 試験ガイドライン 404  
結果 : 皮膚刺激性

エチルヘキサノール:

種 : ウサギ  
結果 : 皮膚刺激性

メタノール:

結果 : 皮膚刺激なし

## ロイヤント™ 乳剤

版番号	改訂日:	整理番号:	前回改訂日:-
1.0	2023/02/14	800080005482	初回作成日: 2023/02/14

---

## 眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性

**製品:**

種	: ウサギ
結果	: 眼への刺激なし
方法	: OECD 試験ガイドライン 405

**成分:**

ベンジル=4-アミノ-3-クロロ-6-(4-クロロ-2-フルオロ-3-メトキシフェニル)-5-フルオロピリジン-2-カルボキシラート(フロルピラウキシフェンベンジル):

種	: ウサギ
結果	: 眼への刺激なし

Reaction mass of N,N-dimethyldecan-1-amide and N,N-dimethyloctanamide:

種	: ウサギ
結果	: 腐食性

プロピレンカーボネート:

結果	: 眼への刺激
----	---------

Alkyl (C10-16)benzenesulfonic acid, calcium salt:

種	: ウサギ
結果	: 腐食性
方法	: OECD 試験ガイドライン 405

エチルヘキサノール:

種	: ウサギ
結果	: 眼への刺激

メタノール:

結果	: 眼への刺激なし
----	-----------

## 呼吸器感作性又は皮膚感作性

**製品:**

試験タイプ	: ビューラー法
種	: モルモット
アセスメント	: 皮膚感作性なし。

## ロイヤント™ 乳剤

版番号	改訂日:	整理番号:	前回改訂日:-
1.0	2023/02/14	800080005482	初回作成日: 2023/02/14

**成分:**

ベンジル=4-アミノ-3-クロロ-6- (4-クロロ-2-フルオロ-3-メトキシフェニル) -5-フルオロピリジン-2-カルボキシラート(フロルピラウキシフェンベンジル):

試験タイプ : 局所リンパ節増殖試験 (LLNA)  
種 : マウス  
結果 : 製品は皮膚過敏化性である、細区分 1B。

**Reaction mass of N,N-dimethyldecan-1-amide and N,N-dimethyloctanamide:**

種 : モルモット  
アセスメント : 皮膚感作性なし。  
備考 : 類似物質について

**プロピレンカーボネート:**

アセスメント : 皮膚感作性なし。  
備考 : ヒトでのテストでは皮膚アレルギー反応はなかった。

備考 : 呼吸器感作性 :  
関連のあるデータは得られていない。

**エチルヘキサノール:**

試験タイプ : HRIPT (ヒト繰り返しインサルトパッチテスト)  
種 : ヒト  
アセスメント : 皮膚感作性なし。

**生殖細胞変異原性****成分:**

ベンジル=4-アミノ-3-クロロ-6- (4-クロロ-2-フルオロ-3-メトキシフェニル) -5-フルオロピリジン-2-カルボキシラート(フロルピラウキシフェンベンジル):

生殖細胞変異原性 - アセスメント : In vitro での遺伝毒性試験は陰性であった。  
動物遺伝毒性試験は陰性だった。

**Reaction mass of N,N-dimethyldecan-1-amide and N,N-dimethyloctanamide:**

生殖細胞変異原性 - アセスメント : In vitro での遺伝毒性試験は陰性であった。  
動物遺伝毒性試験は陰性だった。

**プロピレンカーボネート:**

生殖細胞変異原性 - アセスメント : In vitro での遺伝毒性試験は陰性であった。  
動物遺伝毒性試験は陰性だった。

**エチルヘキサノール:**

生殖細胞変異原性 - アセスメント : In vitro での遺伝毒性試験は陰性であった。、動物遺伝毒性試験は陰性だった。

## ロイヤント™ 乳剤

版番号	改訂日:	整理番号:	前回改訂日:-
1.0	2023/02/14	800080005482	初回作成日: 2023/02/14

---

ント 試験は陰性だった。

**メタノール:**

生殖細胞変異原性 - アセスメント : In vitro での遺伝毒性試験は陰性であった。  
ント

動物遺伝毒性試験は、いくつかの試験で陰性で、いくつかの試験では陽性だった。

**発がん性****成分:**

ベンジル=4-アミノ-3-クロロ-6- (4-クロロ-2-フルオロ-3-メトキシフェニル) -5-フルオロピリジン-2-カルボキシラート(フロルピラウキシフェンベンジル):

発がん性 - アセスメント : 動物試験では発がん性はなかった。

**プロピレンカーボネート:**

発がん性 - アセスメント : 動物試験では発がん性はなかった。

**エチルヘキサノール:**

発がん性 - アセスメント : 実験動物において、発がん作用の証拠が観察された。、これらの発見がヒトに関係していることを示す証拠は存在しない。

**メタノール:**

発がん性 - アセスメント : 動物試験では発がん性はなかった。

**生殖毒性****成分:**

ベンジル=4-アミノ-3-クロロ-6- (4-クロロ-2-フルオロ-3-メトキシフェニル) -5-フルオロピリジン-2-カルボキシラート(フロルピラウキシフェンベンジル):

生殖毒性 - アセスメント : 動物試験では、生殖を阻害しなかった。  
動物試験で、催奇形性や他の胎児への影響はなかった。

**Reaction mass of N,N-dimethyldecan-1-amide and N,N-dimethyloctanamide:**

生殖毒性 - アセスメント : 類似物質について、動物試験で、催奇形性や他の胎児への影響はなかった。

**プロピレンカーボネート:**

生殖毒性 - アセスメント : 動物試験で、催奇形性や他の胎児への影響はなかった。

## ロイヤント™ 乳剤

版番号	改訂日:	整理番号:	前回改訂日:-
1.0	2023/02/14	800080005482	初回作成日: 2023/02/14

---

**エチルヘキサノール:**

生殖毒性 - アセスメント : 実験動物において、母体毒性を示す用量でのみ催奇形性が認められた。、実験動物において、母体毒性を示す用量で胎児毒性が認められた。、これらの濃度はヒトで考えられる用量を上回っている。

**メタノール:**

生殖毒性 - アセスメント : 動物試験では、生殖を阻害しなかった。  
メタノールは、母体毒性を示さない用量でマウスで催奇形性が認められたほか、ラットの子孫に軽度の行動異常が認められた。

**特定標的臓器毒性 (単回ばく露)****製品:**

アセスメント : 使用可能なデータの評価によれば、この物質は特定標的臓器毒性 (単回ばく露) を示さない。

**成分:**

ベンジル=4-アミノ-3-クロロ-6- (4-クロロ-2-フルオロ-3-メトキシフェニル) -5-フルオロピリジン-2-カルボキシラート (フロルピラウキシフェンベンジル):

アセスメント : 使用可能なデータの評価によれば、この物質は特定標的臓器毒性 (単回ばく露) を示さない。

**Reaction mass of N,N-dimethyldecan-1-amide and N,N-dimethyloctanamide:**

暴露の主経路 : 吸入  
アセスメント : 呼吸器への刺激のおそれ。

**プロピレンカーボネート:**

アセスメント : 入手可能データは特定標的臓器毒性 (単回ばく露) を決定するには不十分である。

**エチルヘキサノール:**

暴露の主経路 : 吸入  
標的臓器 : 気道  
アセスメント : 呼吸器への刺激のおそれ。

**メタノール:**

標的臓器 : 眼, 中枢神経系  
アセスメント : 臓器の障害。

## ロイヤント™ 乳剤

版番号	改訂日:	整理番号:	前回改訂日:-
1.0	2023/02/14	800080005482	初回作成日: 2023/02/14

---

## 特定標的臓器毒性（反復ばく露）

**製品:**

アセスメント : 使用可能なデータの評価によれば、この物質は特定標的臓器毒性（反復ばく露）を示さない。

## 反復投与毒性

**成分:**

ベンジル=4-アミノ-3-クロロ-6- (4-クロロ-2-フルオロ-3-メトキシフェニル) -5-フルオロピリジン-2-カルボキシレート (フロルピラウキシフェンベンジル):

備考 : 入手可能なデータによると、繰り返し暴露で、顕著な有害影響は予期されない。

## Reaction mass of N,N-dimethyldecan-1-amide and N,N-dimethyloctanamide:

備考 : 類似物質について  
入手可能なデータによると、繰り返し暴露で、顕著な有害影響は予期されない。

## プロピレンカーボネート:

備考 : 実験動物の皮膚に繰り返し塗布したところ、全身毒性は認められなかった。

## エチルヘキサノール:

備考 : 動物では、以下の臓器に影響することが報告されている：  
血液。  
腎臓。  
肝臓。  
脾臓。

## メタノール:

備考 : メタノールはヒトに対して高い毒性を示し、中枢神経系影響、失明を含む視覚障害、代謝性アシドーシスのほか、肝臓、腎臓および心臓などの臓器に変性を起こすことがある。

## 誤えん有害性

**成分:**

ベンジル=4-アミノ-3-クロロ-6- (4-クロロ-2-フルオロ-3-メトキシフェニル) -5-フルオロピリジン-2-カルボキシレート (フロルピラウキシフェンベンジル):

物性上、誤えん有害性は低い。

## ロイヤント™ 乳剤

版番号	改訂日:	整理番号:	前回改訂日:-
1.0	2023/02/14	800080005482	初回作成日: 2023/02/14

---

**Reaction mass of N,N-dimethyldecan-1-amide and N,N-dimethyloctanamide:**

飲み込んで気道に侵入すると有害のおそれ。

**プロピレンカーボネート:**

入手可能な情報によると、誤えん有害性は確定されていない。

**エチルヘキサノール:**

飲み込んで気道に侵入すると有害のおそれ。

**メタノール:**

飲み込んで気道に侵入すると有害のおそれ。

---

**12. 環境影響情報****生態毒性****製品:**

- 魚毒性 : LC50 (Cyprinus carpio (コイ)): > 120 mg/l  
曝露時間: 96 h  
試験タイプ: 半止水式  
方法: OECD テストガイドライン 203 あるいは同等のもの
- ミジンコ等の水生無脊椎動物 : EC50 (Daphnia magna (オオミジンコ)): 49 mg/l  
に対する毒性 曝露時間: 48 h  
方法: OECD 試験ガイドライン 202
- 藻類/水生生物に対する毒性 : ErC50 (Pseudokirchneriella subcapitata (緑藻)): > 5.4 mg/l  
曝露時間: 72 h  
方法: OECD 試験ガイドライン 201
- ErC50 (Myriophyllum spicatum): 0.000919 mg/l  
曝露時間: 14 d
- 最大無影響濃度 (Myriophyllum spicatum): 0.0000954 mg/l  
曝露時間: 14 d
- 土中生物に対する毒性 : LC50 (Eisenia fetida (ミミズ)): > 2,500 mg/kg  
曝露時間: 14 d  
エンドポイント: 死亡率
- 地上生物に対する毒性 : 経口 LD50 (Colinus virginianus (コリンウズラ)): > 2500 mg/kg 体重



## ロイヤント™ 乳剤

版番号	改訂日:	整理番号:	前回改訂日:-
1.0	2023/02/14	800080005482	初回作成日: 2023/02/14

経口 LD50 (Apis mellifera (ミツバチ)): > 212.2 µg/bee  
曝露時間: 48 h

接触 LD50 (Apis mellifera (ミツバチ)): > 200 µg/bee  
曝露時間: 48 h

**環境毒性アセスメント**

水生環境有害性 短期 (急性) : 水生生物に非常に強い毒性。  
水生環境有害性 長期 (慢性) : 長期継続的影響によって水生生物に非常に強い毒性。

**成分:**

ベンジル=4-アミノ-3-クロロ-6-(4-クロロ-2-フルオロ-3-メトキシフェニル)-5-フルオロピリジン-2-カルボキシラート(フロルピラウキシフェンベンジル):

魚毒性 : LC50 (Oncorhynchus mykiss (ニジマス)): > 0.0490 mg/l  
曝露時間: 96 h  
備考: LC50 値は、水に対する溶解度を超えている。

ミジンコ等の水生無脊椎動物に対する毒性 : EC50 (Daphnia magna (オオミジンコ)): > 0.0623 mg/l  
曝露時間: 48 h

藻類/水生生物に対する毒性 : ErC50 (Pseudokirchneriella subcapitata (緑藻)): > 0.0424 mg/l  
エンドポイント: 生長率阻害  
曝露時間: 72 h

ErC50 (Myriophyllum spicatum): 0.000154 mg/l  
曝露時間: 14 d

最大無影響濃度 (Myriophyllum spicatum): 0.0000095 mg/l  
曝露時間: 14 d

M-ファクター (水生環境有害性 短期 (急性)) : 1,000

魚毒性 (慢性毒性) : 最大無影響濃度 (Pimephales promelas (ファットヘッドミノウ)): 0.0370 mg/l  
曝露時間: 33 d  
試験タイプ: 止水式試験

ミジンコ等の水生無脊椎動物に対する毒性 (慢性毒性) : 最大無影響濃度 (Daphnia magna (オオミジンコ)): 0.0378 mg/l  
曝露時間: 21 d

M-ファクター (水生環境有害性 長期 (慢性)) : 10,000

## ロイヤント™ 乳剤

版番号	改訂日:	整理番号:	前回改訂日:-
1.0	2023/02/14	800080005482	初回作成日: 2023/02/14

- 微生物に対する毒性 : EC50 (活性汚泥): > 1,000 mg/l  
曝露時間: 3 h  
方法: OECD 試験ガイドライン 209
- 土中生物に対する毒性 : LC50 (*Eisenia fetida* (ミミズ)): > 2,000 mg/kg  
曝露時間: 14 d
- 地上生物に対する毒性 : 経口 LD50 (*Colinus virginianus* (コリンウズラ)): > 2250 mg/kg 体重  
エンドポイント: 死亡率
- 混餌 LC50 (*Anas platyrhynchos* (マガモ)): > 5620 mg/kg 餌
- 経口 LD50 (*Apis mellifera* (ミツバチ)): > 105.4 µg/bee  
曝露時間: 48 h  
エンドポイント: 死亡率
- 接触 LD50 (*Apis mellifera* (ミツバチ)): > 100 µg/bee  
曝露時間: 48 h  
エンドポイント: 死亡率

## 環境毒性アセスメント

- 水生環境有害性 短期 (急性) : 水生生物に非常に強い毒性。
- 水生環境有害性 長期 (慢性) : 長期継続的影響によって水生生物に非常に強い毒性。

## Reaction mass of N,N-dimethyldecan-1-amide and N,N-dimethyloctanamide:

- 魚毒性 : 備考: 物質は、水生生物に対して中等度の急性毒性を示す(試験した種のうち最も感受性の高い種では LC50/EC50 1~10 mg/L)。
- 備考: この物質は水生生物に対し、毒性がある。(最も感受性の高い種で LC50/EC50/IC50/LL50/EL50 が 1-10mg/L)
- LC50 (*Danio rerio* (ゼブラフィッシュ)): 14.8 mg/l  
曝露時間: 96 h
- ミジンコ等の水生無脊椎動物に対する毒性 : LC50 (*Daphnia magna* (オオミジンコ)): 7.7 mg/l  
曝露時間: 48 h
- 藻類/水生生物に対する毒性 : EC50 (*Pseudokirchneriella subcapitata* (緑藻)): 16.06 mg/l  
曝露時間: 72 h

## 環境毒性アセスメント

- 水生環境有害性 短期 (急性) : 水生生物に毒性。

## ロイヤント™ 乳剤

版番号	改訂日:	整理番号:	前回改訂日:-
1.0	2023/02/14	800080005482	初回作成日: 2023/02/14

---

**プロピレンカーボネート:**

魚毒性 : 備考: 物質は事実上、水生生物に対して急性毒性を示さない  
(試験した種のうち最も感受性の高い種で  
LC50/EC50/EL50/LL50 >100 mg/L)。

LC50 (Cyprinus carpio (コイ)): > 1,000 mg/l  
曝露時間: 96 h  
試験タイプ: 半止水式

ミジンコ等の水生無脊椎動物 : EC50 (Daphnia magna (オオミジンコ)): > 1,000 mg/l  
に対する毒性 曝露時間: 48 h  
方法: OECD テストガイドライン 202 あるいは同等のもの

藻類/水生生物に対する毒性 : EC50 (藻 (Senedesmus sp.)): > 900 mg/l  
エンドポイント: バイオマス  
曝露時間: 72 h  
方法: 方法不特定。

微生物に対する毒性 : EC50 (活性汚泥): > 800 mg/l  
曝露時間: 30 min  
方法: OECD 209 試験

**Alkyl (C10-16) benzenesulfonic acid, calcium salt:**

魚毒性 : LC50 (Cyprinus carpio (コイ)): 2.8 mg/l  
曝露時間: 48 h  
試験タイプ: 止水式  
方法: OECD 試験ガイドライン 203

**エチルヘキサノール:**

魚毒性 : LC50 (Oncorhynchus mykiss (ニジマス)): 32 - 37 mg/l  
曝露時間: 96 h

LC50 (ファットヘッドミノー (Pimephales promelas)): 28.2  
mg/l  
曝露時間: 96 h  
方法: OECD 試験ガイドライン 203

ミジンコ等の水生無脊椎動物 : LC50 (Daphnia magna (オオミジンコ)): 35.2 mg/l  
に対する毒性 曝露時間: 48 h  
方法: OECD 試験ガイドライン 202

EC50 (Daphnia magna (オオミジンコ)): 39 mg/l  
曝露時間: 48 h  
方法: OECD テストガイドライン 202 あるいは同等のもの

藻類/水生生物に対する毒性 : ErC50 (Pseudokirchneriella subcapitata (緑藻)): 11.5 mg/l

## ロイヤント™ 乳剤

版番号	改訂日:	整理番号:	前回改訂日:-
1.0	2023/02/14	800080005482	初回作成日: 2023/02/14

エンドポイント: 生長率阻害  
曝露時間: 72 h  
方法: OECD テストガイドライン 201 あるいは同等のもの

微生物に対する毒性 : EC50 (バクテリア): 256 - 320 mg/l  
曝露時間: 16 h

**メタノール:**

魚毒性 : 備考: 物質は事実上、水生生物に対して急性毒性を示さない  
(試験した種のうち最も感受性の高い種で  
LC50/EC50/EL50/LL50 >100 mg/L)。

LC50 (Oncorhynchus mykiss (ニジマス)): 19,000 mg/l  
曝露時間: 96 h  
方法: 方法不特定.

ミジンコ等の水生無脊椎動物 : LC50 (Daphnia magna (オオミジンコ)): > 10,000 mg/l  
に対する毒性 曝露時間: 24 h  
方法: 方法不特定.

微生物に対する毒性 : IC50 (活性汚泥): > 1,000 mg/l  
曝露時間: 3 h

**残留性・分解性****成分:**

ベンジル=4-アミノ-3-クロロ-6-(4-クロロ-2-フルオロ-3-メトキシフェニル)-5-フルオロピリジン-2-カルボキシラート(フロルピラウキシフェンベンジル):

生分解性 : 結果: 易分解性ではない。  
生分解: 14.6 %  
曝露時間: 29 d  
方法: OECD テスト ガイドライン 301B  
備考: 10-day Window: 不合格

水中での安定性 : 試験タイプ: 加水分解  
分解半減期 (DT50): 913 d (25 ° C) pH: 4

試験タイプ: 加水分解  
分解半減期 (DT50): 111 d (25 ° C) pH: 7

試験タイプ: 加水分解  
分解半減期 (DT50): 1.3 d (25 ° C) pH: 9

**Reaction mass of N,N-dimethyldecan-1-amide and N,N-dimethyloctanamide:**

生分解性 : 備考: 物質は易分解性である。OECD 易分解性試験に合格して

## ロイヤント™ 乳剤

版番号	改訂日:	整理番号:	前回改訂日:-
1.0	2023/02/14	800080005482	初回作成日: 2023/02/14

---

いる。

結果: 易分解性。  
生分解: > 80 %  
曝露時間: 28 d  
方法: OECD テストガイドライン 301F あるいは同等のもの  
備考: 10-day Window: 合格

化学的酸素要求量 (COD) : 2.890 mg/g

**プロピレンカーボネート:**

生分解性 : 結果: 易分解性。  
備考: 物質は易分解性である。OECD 易分解性試験に合格している。  
物質は最終的に生分解性である。OECD の本質的生分解性試験では無機化が 70% 超に達する。

生分解: 94 %  
曝露時間: 28 d  
方法: OECD テストガイドライン 301E あるいは同等のもの  
備考: 10-day Window: 合格

生分解: > 97 %  
曝露時間: 28 d  
方法: OECD テストガイドライン 302B あるいは同等のもの  
備考: 10-day Window: 非該当

ThOD : 1.25 kg/kg

光分解性 : 試験タイプ: 半減期 (間接光分解)  
感作性: OH ラジカル  
含有量: 1,500,000 l/cm<sup>3</sup>  
速度定数: 3.79E-12 cm<sup>3</sup>/s  
方法: 推定値。

**エチルヘキサノール:**

生分解性 : 結果: 易分解性。  
生分解: > 95 %  
曝露時間: 5 d  
方法: OECD テストガイドライン 302B あるいは同等のもの  
備考: 10-day Window: 非該当

生分解: 68 %  
曝露時間: 17 d  
方法: OECD テストガイドライン 301B あるいは同等のもの  
備考: 10-day Window: 合格

## ロイヤント™ 乳剤

版番号 改訂日: 整理番号: 前回改訂日:-  
1.0 2023/02/14 800080005482 初回作成日: 2023/02/14

---

- 生化学的酸素要求量 (BOD) : 26 - 70 %  
インキュベーション時間: 5 d
- 75 - 81 %  
インキュベーション時間: 10 d
- 86 - 87 %  
インキュベーション時間: 20 d
- 化学的酸素要求量 (COD) : 2.70 kg/kg
- ThOD : 2.95 kg/kg
- 光分解性 : 試験タイプ: 半減期 (間接光分解)  
感作性: 0H ラジカル  
速度定数: 1.32E-11 cm<sup>3</sup>/s  
方法: 推定値。
- メタノール:**
- 生分解性 : 備考: 物質は易分解性である。OECD 易分解性試験に合格している。
- 結果: 易分解性。  
生分解: 99 %  
曝露時間: 28 d  
方法: OECD テストガイドライン 301D あるいは同等のもの  
備考: 10-day Window: 合格
- 生化学的酸素要求量 (BOD) : 72 %  
インキュベーション時間: 5 d
- 79 %  
インキュベーション時間: 20 d
- 化学的酸素要求量 (COD) : 1.49 kg/kg  
方法: ニクロム酸法
- ThOD : 1.50 kg/kg
- 光分解性 : 試験タイプ: 半減期 (間接光分解)  
感作性: 0H ラジカル  
含有量: 1,500,000 l/cm<sup>3</sup>  
速度定数: 6.16E-13 cm<sup>3</sup>/s  
方法: 推定値。

## ロイヤント™ 乳剤

版番号 改訂日: 整理番号: 前回改訂日:-  
1.0 2023/02/14 800080005482 初回作成日: 2023/02/14

---

## 生体蓄積性

成分:

ベンジル=4-アミノ-3-クロロ-6- (4-クロロ-2-フルオロ-3-メトキシフェニル) -5-フルオロピリジン-2-カルボキシラート(フロルピラウキシフェンベンジル):

生体蓄積性 : 種: Lepomis macrochirus (ブルーギル)  
生物濃縮因子 (BCF) : 356  
曝露時間: 30 d

n-オクタノール/水分配係数 : log Pow: 5.5 (20 ° C)  
(log 値) pH: 7  
備考: 生物濃縮の可能性は中程度。 (BCF : 100-3000、Log Pow : 3-5)

**Reaction mass of N,N-dimethyldecan-1-amide and N,N-dimethyloctanamide:**

n-オクタノール/水分配係数 : log Pow: < 3.44 (20 ° C)  
(log 値) 備考: 生物濃縮の可能性は中程度。 (BCF : 100-3000、Log Pow : 3-5)

**プロピレンカーボネート:**

n-オクタノール/水分配係数 : 備考: 生物濃縮の可能性は低い。 (BCF < 100 または Log Pow < 3)  
(log 値) 土壤中移動性がきわめて大きい(Koc 0~50)。  
ヘンリー定数が極めて低いので、自然水系や湿った土壌からの蒸発は多くないと考えられる。

log Pow: -0.41  
方法: 測定値  
備考: 生物濃縮の可能性は低い。 (BCF < 100 または Log Pow < 3)

**Alkyl (C10-16)benzenesulfonic acid, calcium salt:**

n-オクタノール/水分配係数 : log Pow: 4.77 (25 ° C)  
(log 値)

**エチルヘキサノール:**

n-オクタノール/水分配係数 : log Pow: 3.1  
(log 値) 方法: 測定値  
備考: 生物濃縮の可能性は中程度。 (BCF : 100-3000、Log Pow : 3-5)

**メタノール:**

生体蓄積性 : 種: 魚類  
生物濃縮因子 (BCF) : < 10

## ロイヤント™ 乳剤

版番号	改訂日:	整理番号:	前回改訂日:-
1.0	2023/02/14	800080005482	初回作成日: 2023/02/14

---

方法: 測定値

n-オクタノール／水分配係数 : log Pow: -0.77  
(log 値) 方法: 測定値  
備考: 生物濃縮の可能性は低い。(BCF < 100 または Log Pow < 3)

## 土壤中の移動性

## 成分:

ベンジル=4-アミノ-3-クロロ-6-(4-クロロ-2-フルオロ-3-メトキシフェニル)-5-フルオロピリジン-2-カルボキシラート(フロルピラウキシフェンベンジル):

環境中の分布 : Koc: 15305 - 33500  
備考: 土壤中移動性は比較的小さいと考えられる。(Koc > 5000)

## Reaction mass of N,N-dimethyldecan-1-amide and N,N-dimethyloctanamide:

環境中の分布 : Koc: 527.3  
備考: 土壤中移動性が小さい(Koc 500~2000)。

## プロピレンカーボネート:

環境中の分布 : Koc: 15  
方法: 推定値。  
備考: 土壤中移動性がきわめて大きい(Koc 0~50)。  
ヘンリー定数が極めて低いので、自然水系や湿った土壤からの蒸発は多くないと考えられる。

## エチルヘキサノール:

環境中の分布 : Koc: 800  
方法: 推定値。  
備考: 土壤中移動性が小さい(Koc 500~2000)。

## メタノール:

環境中の分布 : Koc: 0.44  
方法: 推定値。  
備考: 土壤中移動性がきわめて大きい(Koc 0~50)。



## ロイヤント™ 乳剤

版番号	改訂日:	整理番号:	前回改訂日:-
1.0	2023/02/14	800080005482	初回作成日: 2023/02/14

---

## オゾン層への有害性

**成分:**

ベンジル=4-アミノ-3-クロロ-6- (4-クロロ-2-フルオロ-3-メトキシフェニル) -5-フルオロピリジン-2-カルボキシラート(フロルピラウキシフェンベンジル):

オゾン層破壊係数 : 備考: この物質は、オゾン層を破壊する物質に関するモントリオール議定書に含まれていない。

**Reaction mass of N,N-dimethyldecan-1-amide and N,N-dimethyloctanamide:**

オゾン層破壊係数 : 備考: この物質は、オゾン層を破壊する物質に関するモントリオール議定書に含まれていない。

**プロピレンカーボネート:**

オゾン層破壊係数 : 備考: この物質は、オゾン層を破壊する物質に関するモントリオール議定書に含まれていない。

**エチルヘキサノール:**

オゾン層破壊係数 : 備考: この物質は、オゾン層を破壊する物質に関するモントリオール議定書に含まれていない。

**メタノール:**

オゾン層破壊係数 : 備考: この物質は、オゾン層を破壊する物質に関するモントリオール議定書に含まれていない。

## 他の有害影響

**成分:**

ベンジル=4-アミノ-3-クロロ-6- (4-クロロ-2-フルオロ-3-メトキシフェニル) -5-フルオロピリジン-2-カルボキシラート(フロルピラウキシフェンベンジル):

PBT および vPvB の評価結果 : 当物質は、残留性、生物濃縮性、毒性(PBT)であるとは考えられていない。当物質は、極めて高い残留性および極めて高い生物蓄積性(vPvB)であるとは見なされない。

**Reaction mass of N,N-dimethyldecan-1-amide and N,N-dimethyloctanamide:**

PBT および vPvB の評価結果 : 当物質は、残留性、生物濃縮性、毒性(PBT)であるとは考えられていない。当物質は、極めて高い残留性および極めて高い生物蓄積性(vPvB)であるとは見なされない。

**プロピレンカーボネート:**

PBT および vPvB の評価結果 : この物質の難分解性・生体蓄積性・毒性(PBT)は評価されていない。

## ロイヤント™ 乳剤

版番号	改訂日:	整理番号:	前回改訂日:-
1.0	2023/02/14	800080005482	初回作成日: 2023/02/14

## エチルヘキサノール:

PBT および vPvB の評価結果 : この物質は、難分解性・生体蓄積性・毒性(PBT)があるとは考えられていない。この物質は、極難分解性・極生体蓄積性(vPvB)があるとは考えられていない。

## メタノール:

PBT および vPvB の評価結果 : この物質は、難分解性・生体蓄積性・毒性(PBT)があるとは考えられていない。この物質は、極難分解性・極生体蓄積性(vPvB)があるとは考えられていない。

## 13. 廃棄上の注意

## 廃棄方法

残余廃棄物 : 廃棄物や容器の廃棄が製品ラベルの指示通りに行えない場合は、関連法規並びに地方自治体の基準に従うこと。都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理する。

以下の情報は購入時の状態のときのみ適用される。使用後或いは汚染された場合、特性や記載事項が適合しない可能性がある。適切な法律に則ってきちんとした廃棄物の識別と廃棄方法を決める。生じた物質の毒性や物理的性質を決定するのは廃棄物排出者の責任である。

内容物や容器を廃棄する場合は、国/都道府県/市町村の規則に従って廃棄する。

## 14. 輸送上の注意

## 国際規制

## 陸上輸送 (UNRTDG)

国連番号 (UN number) : UN 3082  
国連輸送名 (Proper shipping name) : ENVIRONMENTALLY HAZARDOUS SUBSTANCE, LIQUID, N. O. S.  
(Florpyrauxifen-benzyl)  
国連分類 (Class) : 9  
容器等級 (Packing group) : III  
ラベル (Labels) : 9

## 航空輸送 (IATA-DGR)

UN/ID 番号 (UN/ID number) : UN 3082  
国連輸送名 (Proper shipping name) : Environmentally hazardous substance, liquid, n. o. s.  
(Florpyrauxifen-benzyl)  
国連分類 (Class) : 9

## ロイヤント™ 乳剤

版番号	改訂日:	整理番号:	前回改訂日:-
1.0	2023/02/14	800080005482	初回作成日: 2023/02/14

容器等級 (Packing group) : III  
ラベル (Labels) : Miscellaneous  
梱包指示 (貨物機) (Packing instruction (cargo aircraft)) : 964  
梱包指示 (旅客機) (Packing instruction (passenger aircraft)) : 964

**海上輸送 (IMDG-Code)**  
国連番号 (UN number) : UN 3082  
国連輸送名 (Proper shipping name) : ENVIRONMENTALLY HAZARDOUS SUBSTANCE, LIQUID, N. O. S. (Florpyrauxifen-benzyl)  
国連分類 (Class) : 9  
容器等級 (Packing group) : III  
ラベル (Labels) : 9  
EmS コード (EmS Code) : F-A, S-F  
海洋汚染物質 (該当・非該当) (Marine pollutant) : 該当  
備考 : Stowage category A

**MARPOL 73/78 附属書 II 及び IBC コードによるばら積み輸送される液体物質 (該当・非該当)**  
供給された状態の製品には非該当。

**国内規制**

国の特定の法規制は、項目 15 を参照する。

**詳細情報**

国連番号 3077 及び 3082 に割り当てられた海洋汚染物質は、液体の場合には単一もしくは内装容器あたりの正味容量が 5L 以下、固体の場合には単一もしくは内装容器あたりの正味質量が 5kg 以下の単一もしくは組合せ容器において、IMDG コードセクション 2.10.2.7、IATA 特別規定 A197 および ADR/RID 特別規定 375 に規定されるように、非危険物として輸送することができる。

**特別の安全対策**

ここに提供されている輸送分類は、情報の目的だけのために、本安全データシートの中で解説されるように開梱された材料の特性のみに基づいています。輸送分類は、交通手段、パッケージサイズと地域や地方の規則の変更により、変更される可能性があります。

**15. 適用法令****関連法規****消防法**

第四類, 第三石油類, 水溶性液体, 危険等級 III

## ロイヤント™ 乳剤

版番号 改訂日: 整理番号: 前回改訂日:-  
1.0 2023/02/14 800080005482 初回作成日: 2023/02/14

## 労働安全衛生法

## 名称等を通知すべき危険物及び有害物

法第 57 条の 2 (施行令別表第 9)

化学名	番号	含有量 (%)
メタノール	560	>=0.3 - <1

## 名称等を表示すべき危険物及び有害物

法第 57 条 (施行令第 18 条)

化学名	番号
メタノール	560

## 毒物及び劇物取締法

非該当

## 化学物質排出把握管理促進法

2023 年 3 月 31 日まで

## 第一種指定化学物質

化学名	政令番号	含有量 (%)
直鎖アルキルベンゼンスルホン酸及びその塩 (アルキル基の炭素数が 10 から 14 までのもの及びその混合物に限る。)	30	3.4

2023 年 4 月 1 日から

## 第一種指定化学物質

化学名	管理番号	含有量 (%)
直鎖アルキルベンゼンスルホン酸及びその塩 (アルキル基の炭素数が 10 から 14 までのもの及びその混合物に限る。)	30	3.4

## 農薬取締法

## 16. その他の情報

日付フォーマット : 年/月/日

## その他の略語の全文

ACGIH : 米国。ACGIH 限界閾値 (TLV)  
 ACGIH BEI : ACGIH - 生物学的暴露指標 (BEI)  
 Corteva OEL : Corteva Occupational Exposure Limit  
 安衛法 (管理濃度) : 作業環境評価基準、健康障害防止指針  
 日本産業衛生学会 : 許容濃度等の勧告 - II. 生物学的許容値  
 日本産業衛生学会 (許容濃度) : 日本産業衛生学会 許容濃度等の勧告 -I. 化学物質の許容濃度

## ロイヤント™ 乳剤

版番号	改訂日:	整理番号:	前回改訂日:-
1.0	2023/02/14	800080005482	初回作成日: 2023/02/14

ACGIH / TWA	: 8 時間、時間加重平均
ACGIH / STEL	: 短時間暴露限界
Corteva OEL / TWA	: 8-hr TWA
安衛法（管理濃度） / ACL	: 管理濃度、基準濃度
日本産業衛生学会（許容濃度） / OEL-M	: 許容濃度

AIIC - オーストラリアの工業化学品インベントリ; ANTT - ブラジル国家輸送機関; ASTM - 米国材料試験協会; bw - 体重; CMR - 発ガン性、変異原性、生殖毒性があるとされる物質; DIN - ドイツ規格協会基準; DSL - 国内物質リスト (カナダ); ECx - 任意の X%の反応を及ぼすと考えられる濃度; ELx - 任意の X%の反応を及ぼすと考えられる負荷割合; EmS - 緊急時のスケジュール; ENCS - 化審法の既存化学物質リスト; ErCx - 任意の X%の反応を及ぼすと考えられる成長率; ERG - 緊急対応の手引き; GHS - 世界調和システム; GLP - 試験実施規範; IARC - 国際がん研究機関; IATA - 国際航空運送協会; IBC - 危険化学品のばら積運送のための船舶の構造及び設備に関する国際規則; IC50 - 50%阻害濃度; ICAO - 国際民間航空機関; IECSC - 中国現有化学物質名録; IMDG - 国際海上危険物規程; IMO - 国際海事機関; ISHL - 労働安全衛生法 (日本); ISO - 国際標準化機構; KECI - 韓国既存化学物質名録; LC50 - 50%致死濃度; LD50 - 50%致死量 (半数致死量); MARPOL - 船舶による汚染の防止のための国際条約; n. o. s. - 他に品名が明示されているものを除く; Nch - チリ規則; NO(A)EC - 無有害性影響濃度; NO(A)EL - 無有害性影響レベル; NOELR - 無有害性影響負荷割合; NOM - メキシコ公式規則; NTP - 米国国家毒性プログラム; NZIoC - ニュージーランド化学物質台帳; OECD - 経済協力開発機構; OPPTS - 化学物質安全性・公害防止局; PBT - 難分解性・生体蓄積性・有毒性(物質); PICCS - フィリピン化学物質インベントリ; (Q)SAR - (定量的) 構造活性相関; REACH - 化学物質の登録、評価、認可および登録 (REACH) に関する規則 (EC) No 1907/2006; SADT - 自己加速分解温度; SDS - 安全データシート; TECI - タイに既存の化学物質のインベントリ; TCSI - 台湾化学物質インベントリ; TDG - 危険物輸送; TSCA - 有害物質規制法(米国); UN - 国連; UNRTDG - 国際連合危険物輸送勧告; vPvB - 非常に難分解及び非常に高蓄積性; WHMIS - 作業場危険有害性物質情報システム

記載内容は、現時点で入手できる資料、情報にもとづき、当該製品の安全な取り扱い、使用、処理、保管、輸送、廃棄、漏洩時の処理等のために作成されたものですが、記載されている情報はいかなる保証をするものではなく、品質を特定するものでもありません。また、この SDS のデータはここで指定された物質についてのみのものであり、指定されていない工程での使用や、指定されていない材料と組み合わせた使用に関しては有効ではありません。

JP / JA